文部科学省

ナショナルバイオリソースプロジェクト

National BioResource Project（NBRP）

広報活動

2011年度 開催報告書

NBRP広報企画ワーキンググループ

INDEX

ご挨拶（NBRP広報企画ワーキンググループ主査）…… 1

1. 日本遺伝学会第83回大会
   - NBRP展示コーナー …… 2
   - NBRPシンポジウム
     「生物遺伝資源と進化・多様性研究」…… 5

2. 第84回日本生化学会大会 附設展示会
   NBRP展示 …… 7

3. SOL & ICuGI 2011（8th Solanaceae and 2nd Cucurbitaceae Genome Joint Conference、第8回ナス科ゲノム研究・第2回ウリ科ゲノム研究国際合同会議）
   特別企画NBRP植物リソース展示 …… 8

4. 第34回日本分子生物学会年会
   特別企画NBRP実物つきパネル展示
   「バイオリソース勢ぞろい」…… 11
   - 展示プログラム …… 13
   - 来場者アンケート集計結果 …… 24

5. NBRP発足10周年記念
   ナショナルバイオリソースプロジェクト（NBRP）
   公開成果報告会 …… 29

2011年度NBRPの広報活動について（NBRP事務局）…… 34

広報企画ワーキンググループ委員名簿 …… 35

ご　挨　拶

文部科学省では、平成14年度から「ナショナルバイオリソースプロジェクト（NBRP）」をスタートさせ、国が戦略的に整備することが重要なバイオリソースについて、体系的に収集、保存、提供等を行うための体制を整備してきました。この結果、動植物・微生物等のバイオリソース及びそれらに関する情報提供の拠点が整備されてきました。このような多様な生物種を横断した体系的なバイオリソース整備プロジェクトは世界的にみても希であり、いくつかのバイオリソースではすでに世界最高水準に達しており、関連する研究分野の発展に大きく貢献しています。生命科学のさらなる発展のためには、バイオリソース事業の活動内容をバイオリソースのユーザーに良く知ってもらい、バイオリソースを活用してもらった上で、事業改善につながる要望等を事業実施者へフィードバックすることが必要です。このようなバイオリソース事業に関する情報循環を促進することを目的として、NBRP推進委員会では広報企画ワーキンググループを設置し、学会や研究集会においてNBRP活動の紹介と事業への要望の収集に注力して参りました。

平成23年度は、第2期NBRPの最終年度にあたり、プロジェクト発足からは10年目という節目になります。このため、10年にわたるNBRPの成果を総括して今後の参考にするため、2012年1月20日にNBRP成果報告会を東京で開催致しました。その他の広報活動としては、例年どおり関連研究集会の開催やバイオリソースの展示を実施し、多くの参加者にバイオリソースの実態に触れていただき、忌憚のないご意見やコメントを頂くことができました。

さらに多くの方にNBRPを周知させて頂き、2012年4月からスタートする第3期の事業活動が我が国の生命科学研究の発展の礎となることを切望して、ここに平成23年度のNBRP広報活動実施報告書をお送りいたします。

2012年３月
NBRP広報企画ワーキンググループ
主査　　城石 俊彦
（情報・システム研究機構国立遺伝学研究所教授）

1 日本遺伝学会第83回大会

【開催記録】

◆NBRP展示コーナー

日　時：2011年9月20日㈫～22日㈭ 9：00～17：00（最終日13：00）
会　場：日本遺伝学会第83回大会 附設展示会 NBRP展示コーナー
（京都大学農学部総合館1階 自習室、京都市）
主　催：NBRP広報企画ワーキンググループ
共　催：日本遺伝学会第83回大会
（大会委員長 遠藤 隆（京都大学大学院農学研究科））

日本遺伝学会第83回大会（実行委員長 コムギ代表の遠藤隆教授）が、2011年9月20日～22日の日程で京都大学農学部で開催された。前年度は事務局のみの単独参加であったが、今年度は主に関西エリアの中核的拠点整備プログラムのリソースに展示参加を呼びかけ、NBRP展示コーナーを特設することになった。

参加リソースは、ラット（京都大）、ショウジョウバエ（京都工芸繊維大）、メダカ（基生研）、コムギ（京都大）、酵母（大阪市立大、大阪大）、ヒトES細胞（京都大・再生医科学研）の6リソースと事務局（遺伝研）で、計7ブースの出展になった。各ブースにおいて、ポスター発表やモニターによる研究紹介や事業説明などが行われた。大会主催者側の発表によると大会参加者数（全体）は、約400名であった。

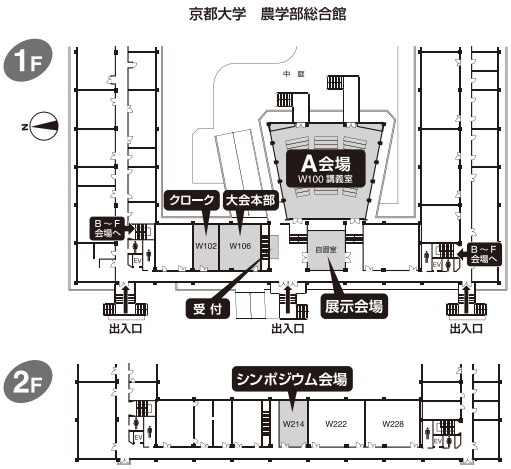
◆NBRPシンポジウム「生物遺伝資源と進化・多様性研究」

日　時：2011年9月22日㈭ 13：30～16：30
会　場：日本遺伝学会第83回大会 シンポジウム会場
（京都大学農学部総合館2階 W214講義室、京都市）
主　催：日本遺伝学会第83回大会
（大会委員長 遠藤 隆（京都大学大学院農学研究科））
共　催：NBRP広報企画ワーキンググループ

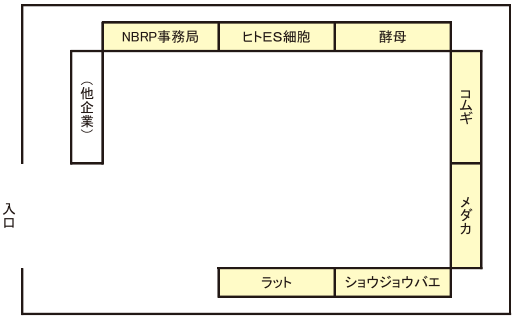
明石良先生（ミヤコグサ・ダイズ）、小林正智先生（シロイヌナズナ）が世話人となり、「生物遺伝資源と進化・多様性研究」というタイトルでシンポジウムを開催し、6題の講演が行われた。

講演者は、植物3リソース（コムギ、イネ、シロイヌナズナ）、および、動物3リソース（ショウジョウバエ、メダカ、マウス）の研究者である。野生系統を中心としたリソース整備とそれらの特性や多様性、次世代シーケンサーによる野生系統間のゲノム解析展望についての話題が中心であった。各機関が保有する多様で有益なバイオリソースの現状に関する情報が提供され、大変有意義な機会となった。熱心な参加者との質疑応答も多々あり、盛況に終わった。会場での参加者数は、約70名であった。

【会場図】（1・2階のみ掲載）



【展示会場・NBRP展示コーナー】



NBRP展示プログラム

日本遺伝学会第83回大会

1

NBRP「ラット」:
ナショナルバイオリソースプロジェクト「ラット」の現状と展望

芹川 忠夫, 真下 知士, 金子 武人, 竹鶴 裕亮, Birger Voigt, 石田 紗恵子, 山崎 賢一, 中西 聡, 庫本 高志
(京都大・院医・動物実験施設)

2

NBRP「ショウジョウバエ」:
Resource at the Bench

山本 雅敏[1], 上田 龍[2], 和多田 正義[3], 松田 宗男[4]
([1]京都工芸繊維大, [2]遺伝研, [3]愛媛大, [4]杏林大)

3

NBRP「メダカ」:
生命科学研究・教育に役立つ統合的生物遺伝資源

成瀬 清[1], 笹土 隆雄[1], 竹花 佑介[1], 佐藤 忠[2], 酒泉 満[2]
([1]基生研, [2]新潟大)

4

NBRP「コムギ」:
ゲノム時代における新たな遺伝的多様性のソースとしてのコムギ在来系統・野生系統

那須田 周平[1], 新田 みゆき[1], 河原 太八[1], 遠藤 隆[1], 岸井 正浩[2], 川浦 香奈子[2], 坂 智広[2], 荻原 保成[2]
([1]京都大・院農, [2]横浜市大・木原生物学研)

5

NBRP「酵母」:
ゲノムサイエンスから生まれた酵母リソース研究基盤

中村 太郎[1], 中原 富美子[1], 周 瑩[2], 下田 親[1], 原島 俊[2], 金子 嘉信[1]
([1]大阪市大・院理, [2]大阪大・院工・先端生命)

日本遺伝学会第83回大会

6

NBRP「ヒトES細胞」：
再生医療必須のリソース

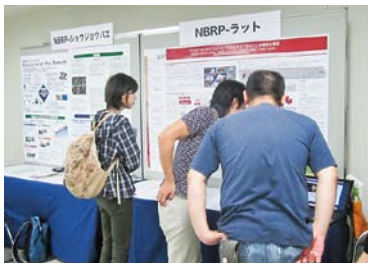
中辻 憲夫
（京都大・再生医科学研究所）

7

NBRP事務局：
ナショナルバイオリソースプロジェクト（NBRP）の
概要紹介

佐藤 清
（遺伝研）

【展示・会場風景】



NBRPシンポジウム「生物遺伝資源と進化・多様性研究」

13：30～13：40　はじめに

ナショナルバイオリソースプロジェクト（NBRP）について

オーガナイザー・座長
明石 良　（宮崎大学フロンティア科学実験総合センター）
小林 正智　（独立行政法人 理化学研究所 筑波研究所バイオリソースセンター）

13：40～14：08　NBRP「コムギ」

「倍数性進化の再現系を利用したコムギ多様性解析：リソースに保全された変異の顕在化」

○宅見 薫雄，松岡 由浩[1]，那須田 周平[2]
（神戸大学，[1]福井県立大学，[2]京都大学）

14：08～14：36　NBRP「ショウジョウバエ」

モデル生物「ショウジョウバエ」を利用した種分化の研究

○澤村 京一
（筑波大学大学院生命環境科学研究科）

14：36～15：04　NBRP「イネ」

「イネ大規模突然変異系統とRILsを用いた有用遺伝子同定：次世代シーケンサーの活用」

○寺内 良平，阿部 陽[1]，小杉 俊一，吉田 健太郎，夏目 俊，高木 宏樹，神崎 洋之，
松村 英生，吉田 佳言，三岡 周子，宇津志 裕恵，Muluneh Tamiru，印南 秀樹[2]
（㈶岩手生物工学研究センター，[1]岩手県農業研究センター，[2]総合研究大学院大学）

15：04～15：32　NBRP「メダカ」

「メダカ及び近縁種の遺伝的多様性とそれを用いたバイオリソース開発」

○成瀬 清，竹花 佑介，笹土 隆雄，酒泉 満[1]
（基礎生物学研究所，[1]新潟大学）

15：32～16：00　NBRP「シロイヌナズナ」

「多様性を利用した研究に貢献するシロイヌナズナ
野生系統の遺伝型・表現型データベースの整備」

○井内 聖，井内 敦子，川村 節子，天野 晃，深海 薫，小林 正智
（独立行政法人 理化学研究所 筑波研究所バイオリソースセンター）

16：00～16：28　NBRP「マウス」

「SNP解析によるマウス近交系の多様性と均一性」

○目加田 和之
（独立行政法人 理化学研究所 筑波研究所バイオリソースセンター）

16：28～16：30　おわりに

日本遺伝学会第83回大会

【シンポジウム・会場風景】

ナショナルバイオリソースプロジェクト（NBRP）シンポジウム

生物遺伝資源と進化・多様性研究

バイオリソースの中で、植物から３リソース、動物から３リソースにおける野生系統を中心としたリソース整備とそれらの特性や多様性について話題を提供していただきます。また、次世代シーケンサーによる野生系統間のゲノム解析の展望についても話していただく予定です。

日本遺伝学会第83回大会

◆日時　2011年9月22日㈭ 13：30～16：30
◆会場　京都大学農学部総合館　W214講義室
（京都大学吉田キャンパス北部構内）

◆シンポジウム

◆オーガナイザー・座長　明石　良（宮崎大学フロンティア科学実験総合センター）
小林正智（理化学研究所 バイオリソースセンター）

1. 「倍数性進化の再現系を利用したコムギ多様性解析：リソースに保全された変異の顕在化」
宅見薫雄、松岡由浩[1]、那須田周平[2]（神戸大学、[1]福井県立大学、[2]京都大学）
2. モデル生物「ショウジョウバエ」を利用した種分化の研究
澤村京一（筑波大学大学院生命環境科学研究科）
3. 「イネ大規模突然変異系統とRILsを用いた有用遺伝子同定：次世代シーケンサーの活用」
寺内良平、阿部純[1]、小杉俊一、吉田健太郎、夏目俊、篇木宏樹、神崎洋之、松村英生、吉田佳重、三岡周子、
宇津志裕恵、Muluneh Tamiru、印南秀樹[2]（独岩手生物工学研究センター、[1]岩手県農業研究センター、[2]総合研究大学院大学）
4. 「メダカ及び近縁種の遺伝的多様性とそれを用いたバイオリソース開発」
成瀬清、竹花佑介、笹土隆雄、酒泉満[1]（基礎生物学研究所、[1]新潟大学）
5. 「多様性を利用した研究に貢献するシロイヌナズナ 野生系統の遺伝型・表現型データベースの整備」
井内聖、井内敦子、川村節子、天野晃、深海薫、小林正智（理化学研究所 バイオリソースセンター）
6. 「SNP解析によるマウス近交系の多様性と均一性」
目加田和之（理化学研究所 バイオリソースセンター）

■主催：日本遺伝学会　■共催：NBRP広報企画ワーキンググループ

2 第84回日本生化学会大会 附設展示会NBRP展示

【開催記録】 文部科学省ナショナルバイオリソースプロジェクト（NBRP）展示
日　時：2011年9月22日㈭～24日㈯ 10：00～18：00（最終日15：30）
会　場：国立京都国際会館 イベントホール・1階ロビー（京都市）
主　催：第84回会日本生化学会大会
（会頭 西村 いくこ（京都大学大学院理学研究科））

大会側発表によると、大会期間中の全体参加者数は4,500名超、附設展示会出展数は106社（法人・団体・書籍）であった。附設展示会場、学術研究ポスター発表が同会場であったため、来場者の動線もよく、例年より充実した広報活動を行うことができた。

NBRP事務局ブースにおいては、ポスター、パンフレット、モニター画面にてNBRP事業の紹介を行なった。とくに、過去の展示会やリソース映像等は大変興味を持って来場者にご覧いただき、多数のご意見・ご質問等をお寄せいただいた。主なものとしては、管理体制（収集・保管・分譲・寄託）、リソースの新規利用希望、リソースの系統数、NBRP総合情報サイト、NBRP各種パンフレット入手方法等、また、東日本大震災による影響等、時事的な関心事もあった。

より多くの研究者にNBRPリソースの有効的、積極的利用をアピールすることができ、大変有意義であった。

【会場風景】

3 SOL & ICuGI 2011（8th Solanaceae and 2nd Cucurbitaceae Genome Joint Conference、第8回ナス科ゲノム研究・第2回ウリ科ゲノム研究国際合同会議）特別企画NBRP植物リソース展示

【開催記録】　日　時：2011年11月29日㈫ 12：30～21：00
11月30日㈬ 9：00～14：30
会　場：SOL & ICuGI 2011 NBRP展示コーナー
（神戸コンベンションセンター 神戸国際会議場5階 ラウンジ、神戸市）
主　催：NBRP広報企画ワーキンググループ
共　催：SOL & ICuGI 2011
（大会オーガナイザー　江面　浩（筑波大学生命環境系））

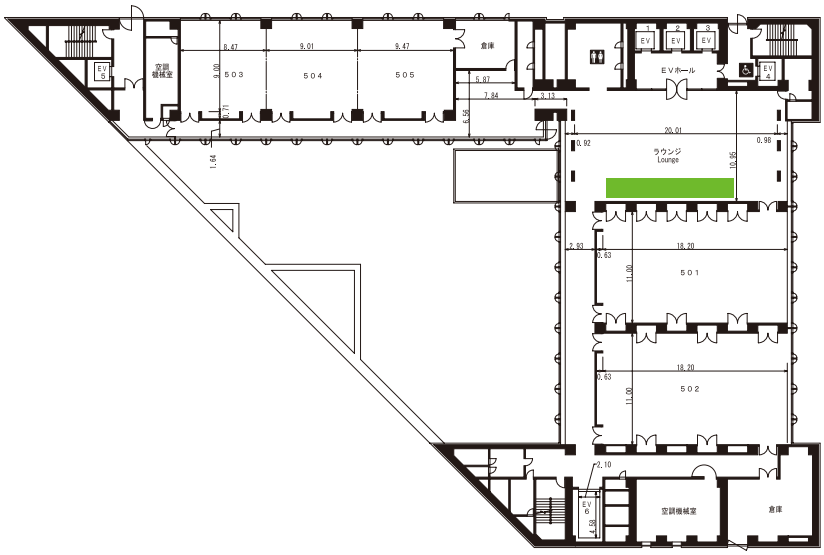
SOL & ICuGI 2011（第8回ナス科ゲノム研究・第2回ウリ科ゲノム研究国際合同会議）が、2011年11月28日～12月2日の日程で開催され、世界20カ国から約320名のナス科およびウリ科の研究者が神戸に集まった。「今、日本の植物リソースは国際的に注目度がアップしており、日本の復興が始まっている証の一つを海外に示すことが出来る良い機会になる」、との筑波大学　江面教授からの呼びかけに応え、NBRP植物リソース展示会を開催することになった。

学会開催期間中の11月29日～30日の2日間、会場の一角にNBRP展示コーナーを設け、ポスター発表による事業紹介や、アサガオ・キク・コムギなどリソースの実物展示を行った。参加リソースは、シロイヌナズナ（理研BRC）、アサガオ（九州大、基生研）、トマト（筑波大）、広義キク属（広島大）、コムギ（京都大）の5つの植物リソースと事務局も参加し、計6ブースの出展となった。

初のウリ科ナス科の国際合同会議への出展であったが、会期中のOralの部では、“NBRP and Related Bioresources”のセッションがあり、有泉先生（筑波大）、青木先生（大阪府立大）がNBRP-Tomatoの研究結果を発表された。

日本のバイオリソースの整備事業の存在を世界の植物関係者に紹介することができ、有意義な広報活動となった。

【会場図】（5階のみ掲載）



【展示会場・NBRP展示コーナー】

NBRP展示プログラム

SOL & ICuGI 2011特別企画NBRP植物リソース展示

1

NBRP　Arabidopsis/Cultured plant cells and genes:
“Plant resources for our future”

Hiroshi Abe, Satoshi Iuchi,
Toshihiro Kobayashi, and Masatomo Kobayashi
(RIKEN BioResource Center)

2

NBRP　Morning glory:
“Genetic resources of Ipomoea nil and its related species”

Eiji Nitasaka[1] and Atsushi Hoshino[2]
([1]Faculty of Sciences, Kyushu University, [2]National Institute for Basic Biology, National Institute of Natural Sciences)

3

NBRP　Tomatoes:
“Micro-Tom Resouce for Accelerating Functional Genomics in Tomato”

Takeshi Saito[1], Tohru Ariizumi[1], Kanae Niinuma[1],
Erika Asamizu[1], Tsuyoshi Mizoguchi[1], Naoya Fukuda[1],
Chiaki Matsukura[1], Koh Aoki[2, 3], and Hiroshi Ezura[1]
([1]Graduate School of Life and Environmental Sciences, University of Tsukuba, [2]Kazusa DNA Research Institute, [3]Osaka Prefecture University)

4

NBRP　Chrysanthemum:
“Bioresource of Chrysanthemum and related genera”

Yu Masuda, Kenji Taniguchi, and Makoto Kusaba
(Hiroshima University)

5

NBRP　Wheat:
“NBRP-Wheat: Evaluation and exploitation of the genetic diversity preserved ex-situ in landraces of common wheat”

Miyuki Nitta[1], Shuhei Nasuda[1], Taihachi Kawahara[1],
Takashi R. Endo[1], Kanako Kawaura[2], Masahiro Kishii[2],
Tomohiro Ban[2], and Yasunari Ogihara[2]
([1]Graduate School of Agriculture, Kyoto University, [2]Kihara Institute for Biological Research, Yokohama City University)

SOL & ICuGI 2011特別企画NBRP植物リソース展示

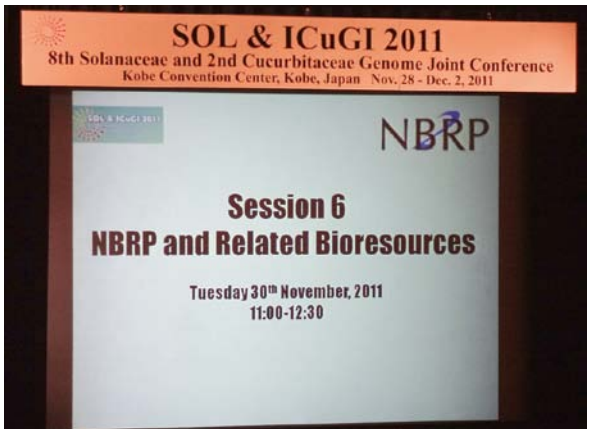
6

NBRP　Secretariat:
“Introduction of National Bioresource Project (NBRP) in Japan”

Maki Acosta, Michiyo Kojima, Michiko Takano,
Emi Banzai, and Kiyoshi Sato
(Secretariat of National Bioresource Project, National Institute of Genetics)

【会場風景】

【セッション風景】



4 第34回日本分子生物学会年会 特別企画NBRP実物つきパネル展示「バイオリソース勢ぞろい」

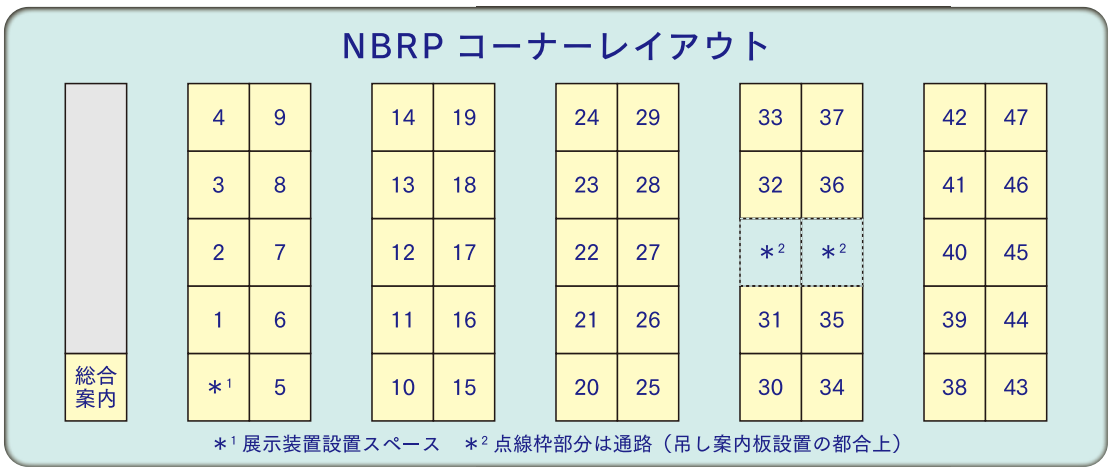
【開催記録】 日　時：2011年12月13日㈫～16日㈮　9：00～17：00（最終日14：00）
会　場：第34回日本分子生物学会年会 ポスター・展示会場 NBRP展示コーナー
（パシフィコ横浜 展示ホール、横浜市）
主　催：NBRP広報企画ワーキンググループ
共　催：第34回日本分子生物学会年会
（年会長 花岡 文雄（学習院大学理学部））
参加者：500名以上
＊来場者数をカウントしなかったので詳細は不明だが、NBRP展示コーナーで事務局が来場者に配布した案内資料の枚数が約500枚だったことから、NBRP展示コーナー全体としてはそれ以上の来場者数だったと思われる。

第34回日本分子生物学会年会が2011年12月13日㈫～16日㈮の4日間にわたり横浜で開催された。「分子からヒトへ―メカニズムを知り、コントロールする―」という大会キャッチコピーのもと、大会テーマは「基礎研究と応用研究の基軸としての分子生物学」であった。なお、大会終了後の学会発表による大会参加者数は、約8,320名であった。

NBRP展示コーナーとしては、例年通り、年度最大の規模となった。NBRP各リソースの代表機関（34件）に加え、他省庁等のバイオリソース研究機関（8件）、文部科学省関連のプロジェクト（5件）の参加によって、ブース数は合計47件であった。

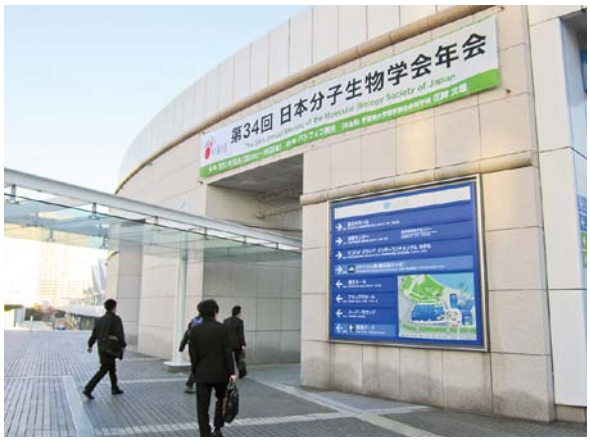
例年同様、来場者の多くは研究者、学生であったが、民間企業の来場者も目立つ傾向にあった（アンケート集計結果ページ）。

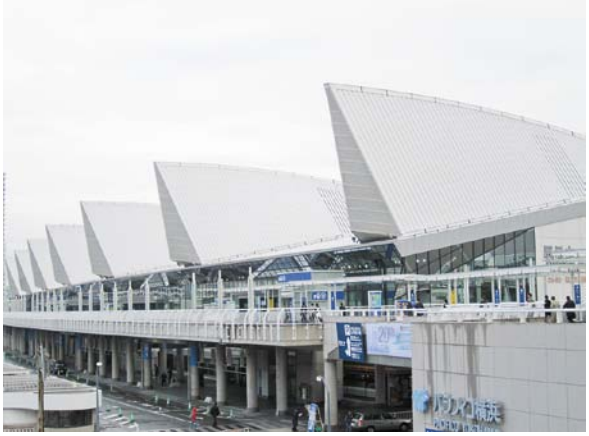
【展示会場図】



第34回日本分子生物学会年会 特別企画NBRP実物つきパネル展示

【会場風景】





NBRP展示プログラム

第34回日本分子生物学会年会
特別企画NBRP実物つきパネル展示

1

NBRP「実験動物マウス」：
マウスからヒトへ
―共通の分子メカニズム解明をめざして―

吉木 淳，池 郁生，目加田 和之，平岩 典子，中田 初美，
持田 慶司，小倉 淳郎，森脇 和郎，小幡 裕一
（理研BRC）

2

理研BRC「日本マウスクリニック」：
―あなたのマウスお調べします―

若菜 茂晴，鈴木 智広，小林 喜美男，金田 秀貴，古瀬 民生，
三浦 郁生，山田 郁子，茂木 浩未，土岐 秀明，井上 麻紀，
美野輪 治，野田 哲生，脇 和規，田中 信彦，桝屋 啓志
（理研BRC）

3

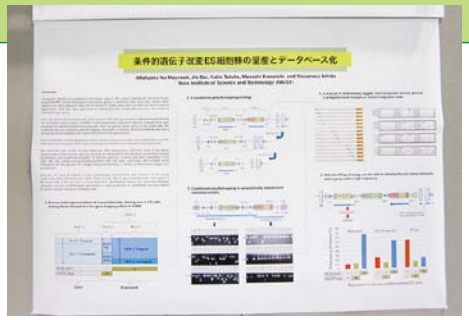
CARD「マウスバンク」：
冷凍精子からの大量産子の作出

竹尾 透，土山 修治，中潟 直己
（熊本大・生命資源研究・支援センター・CARD）

4

NBRP「マウス≪基盤技術整備プログラム≫」：
条件的遺伝子改変ES細胞株の量産とデータベース化

Niluhputu Ika Mayasari，田畑 海渡，石田 靖雅
（奈良先端科学技術大学院大）



5

NBRP「ラット」：
ナショナルバイオリソースプロジェクト「ラット」の現状と展望

芹川 忠夫，真下 知士，金子 武人，竹鶴 裕亮，Birger Voigt，
石田 紗恵子，山崎 賢一，中西 聡，庫本 高志
（京都大・院医・動物実験施設）

第34回日本分子生物学会年会 特別企画NBRP実物つきパネル展示

6

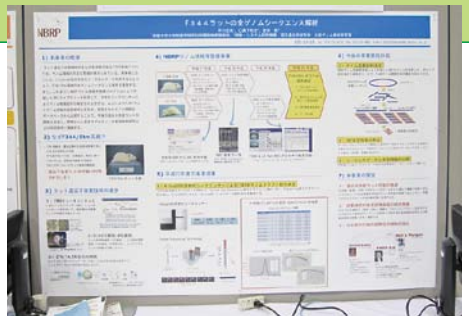
NBRP「ラット《基盤技術整備プログラム》」：
ラット精子に関する基盤技術の整備

金子 武人[1]，伊藤 潤哉[2]，竹鶴 裕亮[1]，柏崎 直巳[2]，
芹川 忠夫[1]
（[1]京都大・院医・動物実験施設，[2]麻布大・院獣医）

7

NBRP「ラット《ゲノム情報等整備プログラム》」：
F344ラットの全ゲノムシークエンス解析

芹川 忠夫[1]，真下 知士[1]，豊田 敦[2]
（[1]京都大・院医・動物実験施設，[2]遺伝研）



8

NBRP「ニホンザル」：
ナショナルバイオリソースプロジェクト「ニホンザル」の活動について

NBR事業推進室（自然科学研究機構生理学研究所）

9

NBRP「GAIN（大型類人猿情報ネットワーク）」：
大型類人猿情報ネットワーク（GAIN）の活動紹介

今井 啓雄[1]，落合-大平知美[1]，郷 康広[1]，西村 剛[1]，
伊谷 原一[2]，打越 万喜子[1]，松沢 哲郎[1]
（[1]京都大・霊長類研究所，[2]京都大・野生動物研究センター）

10

ニワトリ・ウズラ：
鳥類を代表するバイオリソース

松田 洋一，水谷 誠，渥美 優介，只野 亮，山縣 高宏，
吉村 崇，斎藤 昇
（名古屋大・院生命農学・鳥類バイオサイエンス研究センター）

第34回日本分子生物学会年会 特別企画NBRP実物つきパネル展示

11

NBRP「ヒトES細胞」：
再生医療必須のリソース

中辻 憲夫
（京都大・再生医科学研究所）

12

NBRP「ヒト・動物細胞」：
細胞バンク

中村 幸夫，細胞材料開発室 室員一同
（理研BRC）

13

厚生労働省：
創薬・医学研究用研究資源
―薬用植物、医学実験用霊長類、遺伝子、培養細胞、実験動物―

増井 徹，保富 康弘，川原 信夫，古江-楠田 美保，
松田 潤一郎，小原 有弘，高橋 一朗，亀岡 洋祐
（医薬基盤研究所）

14

ヒューマンサイエンス研究資源バンク：ヒト由来組織・細胞・DNA
ヒト組織バンク
―手術摘出組織および組織由来細胞の研究利用―

小阪 拓男，佐藤 元信，吉田 東歩
（ヒューマンサイエンス研究資源バンク）

15

NBRP「ショウジョウバエ」：
ショウジョウバエ・リソース この10年の発展と展望

山本 雅敏[1]，上田 龍[2]，和多田 正義[3]，松田 宗男[4]
（[1]京都工芸繊維大，[2]遺伝研，[3]愛媛大，[4]杏林大）

第34回日本分子生物学会年会 特別企画NBRP実物つきパネル展示

16

NBRP「線虫」：
遺伝子機能解析のための欠失変異体の収集・保存・提供

三谷 昌平，吉名 佐和子，中台 枝里子，堀 沙耶香，
今江 理恵子，末廣 勇司，舩津 修，本橋 智子
（東京女子医大・医）

17

NBRP「ネッタイツメガエル」：
ネッタイツメガエルの研究基盤整備

矢尾板 芳郎[1]，浅島 誠[2]，高瀬 稔[1]，高橋 秀治[3]，
伊藤 弓弦[4]
（[1]広島大・院理・両生類研究施設，[2]東京大・院総合文化，
[3]東京大・教養教育高度化機構，[4]産総研・幹細胞工学研究センター）

18

NBRP「カイコ」：
日本発信のカイコバイオリソースの魅力

伴野 豊[1]，嶋田 透[2]，梶浦 善太[3]，瀬筒 秀樹[4]
（[1]九州大・院農，[2]東京大・院農，[3]信州大，[4]農業生物資源研究所）

19

NBRP「メダカ」：
メダカ先導的バイオリソースの拠点形成

笹土 隆雄[1]，竹花 佑介[1]，原 郁代[1]，佐藤 忠[2]，酒泉 満[2]，
成瀬 清[1]
（[1]基生研，[2]新潟大）

20

NBRP「ゼブラフィッシュ」：
ナショナルバイオリソースプロジェクト・ゼブラフィッシュ

岡本 仁[1]，川上 浩一[2]，東島 眞一[3]
（[1]理研BSI，[2]遺伝研，[3]自然科学研究機構）

21

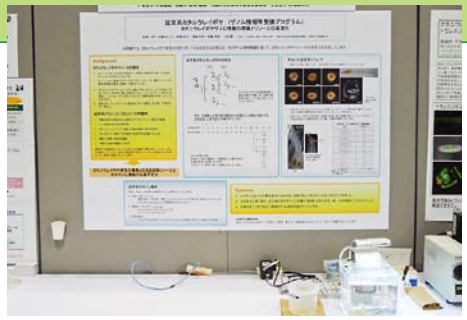
NBRP「カタユウレイボヤ・ニッポンウミシダ」：
海産動物の代表リソース

稲葉 一男[1]，赤坂 甲治[2]，佐藤 ゆたか[3]，笹倉 靖徳[1]，
河合 成道[1]，三田 薫[1]，住吉 範子[2]
（[1]筑波大・下田臨海，[2]東京大・院理・臨海，[3]京都大・院理・動物）

22

NBRP「カタユウレイボヤ《ゲノム情報等整備プログラム》」：
カタユウレイボヤゲノム情報の整備とリソースの高度化

稲葉 一男[1]，佐藤 ゆたか[2]，佐藤 矩行[3]，遠藤 俊徳[4]，
笹倉 靖徳[1]，三田 薫[1]
（[1]筑波大・下田臨海，[2]京都大・院理・動物，
[3]沖縄科学技術研究基盤整備機構，[4]北海道大・院情報科学）



23

NBRP「シロイヌナズナ／植物培養細胞・遺伝子」：
“Molecules to Fields” ―シロイヌナズナのチャレンジ

小林 正智，安部 洋，井内 聖，小林 俊弘
（理研BRC）

24

NBRP「イネ」：
イネ属遺伝子資源の収集・保存・提供と高度情報化

倉田 のり[1]，野々村 賢一[1]，久保 貴彦[1]，北野 英己[2]，
熊丸 敏博[3]，吉村 淳[3]，安井 秀[3]，長戸 康郎[4]，佐藤 光[3]
（[1]遺伝研，[2]名古屋大・生物機能開発利用セ，[3]九州大・院農，
[4]東京大・院農）

25

NBRP「コムギ」：
倍数性遺伝学・ゲノミクス・育種のモデル植物

川浦 香奈子[1]，岸井 正浩[1]，那須田 周平[2]，坂 智広[1]，
河原 太八[2]，荻原 保成[1]，遠藤 隆[2]
（[1]横浜市大・木原生物学研，[2]京都大・院農）

第34回日本分子生物学会年会 特別企画NBRP実物つきパネル展示

26

NBRP「オオムギ」：
―環境ストレス応答研究の基盤植物―

佐藤 和広，山地 奈美，元井 由佳
（岡山大・資源植物科学研究所）

27

NBRP「藻類」：
NBRP藻類 ― 想像をはるかに超える多様性

河地 正伸[1]，川井 浩史[2]，井上 勲[3]，中山 剛[3]，
山岸 隆博[2]，石田 健一郎[3]，羽生田 岳昭[2]，甲斐 厚[2]，
渡邉 信[3]，笠井 文絵[1]
（[1]国立環境研・生物，[2]神戸大・内海セ，[3]筑波大・院生命環境科学）

28

NBRP「広義キク属」：
東アジアで同質倍数性ゲノム進化を遂げた植物群

草場 信，谷口 研至，増田 優
（広島大・院理・植物遺伝子保管実験施設）

29

NBRP「アサガオ」：
新しいモデル植物をめざして

仁田坂 英二[1]，星野 敦[2]
（[1]九州大・院理，[2]基生研）

30

NBRP「ミヤコグサ・ダイズ」：
モデル植物から作物への展開

橋口 正嗣[1]，甲斐 彩友美[1]，石垣 元気[1]，阿部 純[2]，
青木 俊夫[3]，穴井 豊昭[4]，鈴木 章弘[4]，明石 良[1]
（[1]宮崎大・フロンティア科学実験総合センター，[2]北海道大・院農，
[3]日大・生物資源，[4]佐賀大・農）

第34回日本分子生物学会年会 特別企画NBRP実物つきパネル展示

31

NBRP「トマト」：
果実研究のモデル植物トマト変異体集団の基盤整備

斎藤 岳士[1]，有泉 亨[1]，新沼 協[1]，浅水 恵理香[1]，
溝口 剛[1]，福田 直也[1]，松倉 千昭[1]，鈴木 秀幸[2]，
青木 考[2,3]，江面 浩[1]
（[1]筑波大・院生命環境科学，[2]かずさDNA研究所，[3]大阪府大・生命環境）

32

カンキツ類：
カンキツ類の系統保存と実験生物としての利用

松川 哲也，仁藤 伸昌
（近畿大・生物理工）

33

農業食料生物遺伝資源とゲノムリソース：
私たちの未来を支える多様な食糧農業生物遺伝資源と
ゲノムリソース

福井 邦明，山本 伸一，新野 孝男，白田 和人，原 哲志，
友岡 憲彦，青木 孝之，竹谷 勝，B. A. アントニオ，
長村 吉晃，河瀬 眞琴 （農業生物資源研究所）

34

NBRP「細胞性粘菌」：
多面的有用性をもったモデル真核微生物：
細胞性粘菌全遺伝子と株のリソース

漆原 秀子[1]，上田 太郎[2]，桑山 秀一[1]，長崎 晃[2]，
毛利 蔵人[1]，西嶌 玲子[1]，大塚 亜希子[1]，範 翠晶[2]
（[1]筑波大・院生命環境科学，[2]産総研・バイオメディカル研究部門）

35

NBRP「病原微生物」：
病原微生物

亀井 克彦[1]，矢口 貴志[1]，江崎 孝行[2]，飯田 哲也[3]，
平山 謙二[4]
（[1]千葉大・真菌セ，[2]岐阜大・院医，[3]大阪大・微生物病研，
[4]長崎大・熱帯医学研）

第34回日本分子生物学会年会 特別企画NBRP実物つきパネル展示

36

NBRP「一般微生物」：
環境と健康の研究に資する微生物リソース

大熊 盛也，小迫 芳正，鈴木 基文，岡田 元，高島 昌子，
工藤 卓二，伊藤 隆，大和田 勉，飯田 敏也，坂本 光央，
北原 真樹，飯野 隆夫，安 光得，草桶 佳代，押田 祐美
（理研BRC）

37

NBRP「原核生物（大腸菌・枯草菌）」：
原核生物（大腸菌，枯草菌）のバイオリソース

仁木 宏典，青木 敬太，野崎 晋五
（遺伝研）

38

NBRP「酵母」：
ゲノムサイエンスから生まれた酵母リソース研究基盤

中村 太郎[1]，中原 富美子[1]，周 瑩[2]，下田 親[1]，
原島 俊[2]，金子 嘉信[2]
（[1]大阪市大・院理，[2]大阪大・院工・生命先端）

39

NBRP「遺伝子材料」：
信頼できるDNAリソースでよい研究結果を！

小幡 裕一，岸川 昭太郎，中出 浩司，村田 武英
（理研BRC）

40

NBRC「微生物・DNA」：
産業利用と安全に資する生物遺伝資源センター

中川 純一，鈴木 健一朗，安藤 勝彦，原 和朗，藤田 信之
（製品評価技術基盤機構バイオテクノロジーセンター）

第34回日本分子生物学会年会 特別企画NBRP実物つきパネル展示

41

NBRP「情報センター」：
NBRP情報総合サイトwww.nbrp.jp
―持続可能なシステムの構築―

山﨑 由紀子，土屋 里枝，矢野 澄子，山川 武廣，
齊藤 睦美，渡邉 融，木村 学，佐賀 正和，坂本 盛宇，
服部 学，渡邉 拓貴，相場 厚輝 （遺伝研）

42

NBRP「GBIF（地球規模生物多様性情報機構）」：
研究リソースとしてGBIF（地球規模生物多様性情報機構）
データはどのように役立つか

菅原 秀明[1]，松浦 啓一[2]，伊藤 元己[3]
（[1]遺伝研，[2]国立科学博物館，[3]東大・院総合文化）

[総合案内]

文部科学省
ナショナルバイオリソースプロジェクト（NBRP）の
概要紹介

佐藤 清，髙野 道子，小島 美智代，アコスタ 真紀，
坂西 絵美
（NBRP事務局 遺伝研）

43〈文部科学省ライフサイエンス関連のプロジェクト〉

文部科学省
ターゲットタンパク研究プログラム

ターゲットタンパク研究プログラム事務局
（東京大学大学院農学生命科学研究科）

44〈文部科学省ライフサイエンス関連のプロジェクト〉

文部科学省
革新的細胞解析研究プログラム（セルイノベーション）

セルイノベーション事務局
（東京大学医科学研究所）

第34回日本分子生物学会年会 特別企画NBRP実物つきパネル展示

45〈文部科学省ライフサイエンス関連のプロジェクト〉

文部科学省
再生医療の実現化プロジェクト

再生医療の実現化プロジェクト事務局
（財団法人先端医療振興財団再生医療研究開発課）

46〈文部科学省ライフサイエンス関連のプロジェクト〉

文部科学省
脳科学研究戦略推進プログラム

脳科学研究戦略推進プログラム事務局
（自然科学研究機構生理学研究所）

47〈文部科学省ライフサイエンス関連のプロジェクト〉

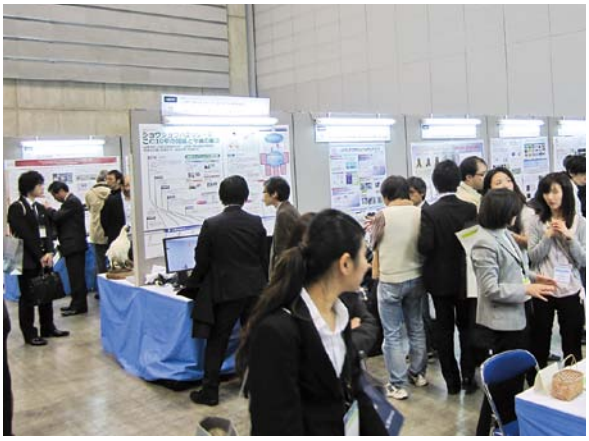
文部科学省
生物遺伝資源教育プログラムの国際的展開：
遺伝資源キュレーターの育成を目指した国際教育プログラムの推進

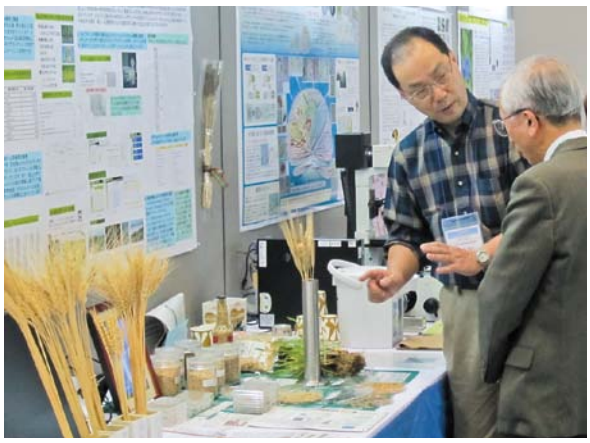
明石 良[1]，山本 雅敏[2]
（[1]宮崎大，[2]京都工芸繊維大）

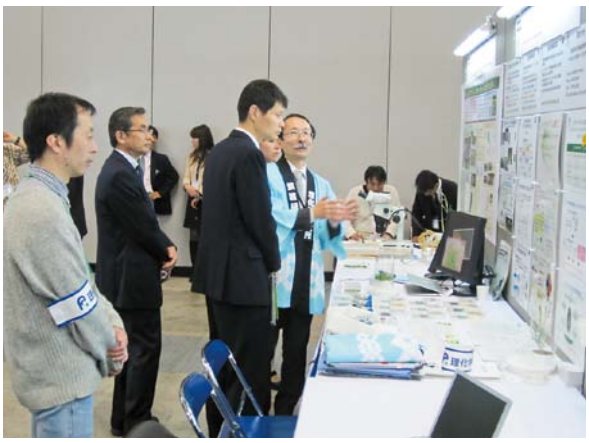
【会場風景】

第34回日本分子生物学会年会 特別企画NBRP実物つきパネル展示

【会場風景】







第34回日本分子生物学会年会 特別企画NBRP実物つきパネル展示

第34回日本分子生物学会年会 2011年特別企画 NBRP展示　来場者アンケート集計結果

■実 施 日：2011年12月13日(火)～12月16日(金)
■実施場所：パシフィコ横浜　展示ホール
■回 答 数：

回収日	回収数	来場者数
12月13日	32	
12月14日	25	
12月15日	30	
12月16日	8	
合　計	95	500名以上

＊来場者数は展示プログラムを受け取った人でカウント。受け取らなかった人もいるので、実際はもっと多い。

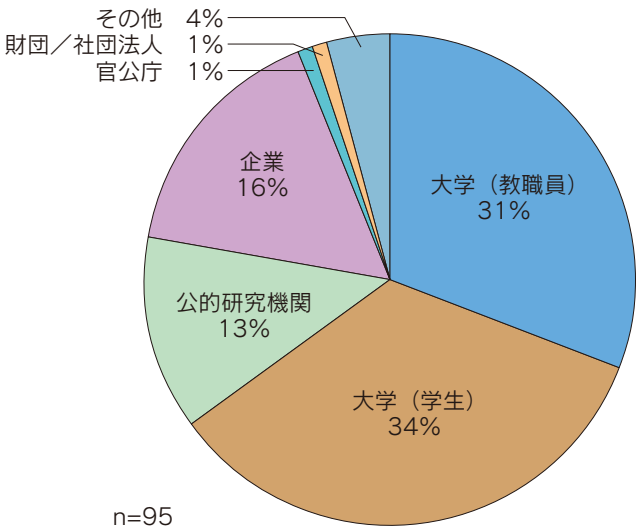
Q1 あなたのご所属についてお聞かせ下さい。

□大学（□教職員　□学生）　□公的研究機関　□企業
□官公庁　□財団／社団法人　□その他

回　答

	13日	14日	15日	16日	合計
大学（教職員）	10	8	11	1	30
大学（学生）	12	6	12	2	32
公的研究機関	4	3	3	2	12
企業	5	6	3	1	15
官公庁	0	1	0	0	1
財団／社団法人	0	0	0	1	1
その他	1	1	1	1	4

NBRPコーナー来場者



Q2 あなたの研究で主としてどのような生物材料を使用していますか、あるいは使用したことがありますか？（複数回答可）

□マウス □ニホンザル □アサガオ □枯草菌
□ラット □カタユウレイボヤ □ミヤコグサ □酵母
□ショウジョウバエ □ニッポンウミシダ □ダイズ □細胞性粘菌
□線虫 □シロイヌナズナ □藻類 □培養細胞（ヒト）
□ネッタイツメガエル □イネ □トマト □培養細胞（動物）
□カイコ □コムギ □病原微生物 □培養細胞（植物）
□メダカ □オオムギ □一般微生物 □ヒトES細胞
□ゼブラフィッシュ □広義キク属 □大腸菌 □DNA
□その他（＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）

回　答（複数回答あり）

	13日	14日	15日	16日	合計
マウス	10	5	9	2	26
ラット	2	3	7	0	12
ショウジョウバエ	1	0	1	0	2
線虫	2	1	2	1	6
ネッタイツメガエル	0	0	0	0	0
カイコ	4	0	0	1	5
メダカ	0	1	3	0	4
ゼブラフィッシュ	3	1	1	0	5
ニホンザル	2	0	0	0	2
カタユウレイボヤ	0	0	2	0	2
ニッポンウミシダ	0	0	0	0	0
シロイヌナズナ	0	1	2	0	3
イネ	1	1	2	0	4
コムギ	0	0	0	0	0
オオムギ	0	0	0	0	0
広義キク属	0	0	0	0	0
アサガオ	0	0	0	0	0
ミヤコグサ	0	0	0	0	0
ダイズ	0	0	0	0	0
藻類	2	0	1	2	5
トマト	0	0	0	0	0
病原微生物	1	2	1	1	5
一般微生物	0	2	0	0	2
大腸菌	5	3	1	3	12
枯草菌	1	0	0	2	3
酵母	2	5	5	1	13
細胞性粘菌	2	0	1	1	4
培養細胞（ヒト）	4	1	5	3	13
培養細胞（動物）	7	3	2	3	15
培養細胞（植物）	0	0	1	0	1
ヒトES細胞	0	0	0	0	0
DNA	3	2	0	0	5

その他

13日	14日	15日	16日
ヘビ	植物（染色体）	シマリス	
キンギョ	ヒメツリガネゴケ	マボヤ	
ティラピア	ウイルス	アフリカツメガエル	
		ソルガム	
		古細菌	
		HeLa細胞	

第34回日本分子生物学会年会 特別企画NBRP実物つきパネル展示

Q3 その生物材料の入手先を教えてください。

□他の研究者　□自分で作製　□企業から購入
□国内のリソースセンター（＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）
□海外のリソースセンター（＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）

回　答（複数回答あり）

	13日	14日	15日	16日	合計
他の研究者	11	5	11	2	29
自分で作製	5	7	7	1	20
企業から購入	9	3	5	4	21
国内のリソースセンター	9	4	13	3	29
海外のリソースセンター	5	4	8	1	18

国内のリソースセンターの内訳

	13日	14日	15日	16日	合計
理研BRC		2	3		5
JCRB	6				6
農業生物資源研究所			2		2
NITE			1		1
遺伝学研究所		2			2
基礎生物学研究所		1			1
産業技術総合研究所			1	1	2
国立環境研究所			1		1
筑波大学			1		1
千葉大学真菌医学研究センター	1	1			2
京都工繊大DGRC	1				1
大阪大学		1	1		2
大阪市立大学		1	1		2
九州大学	1				1
東京女子医科大学		1	1		2
日本クレア㈱			1		1

（注）事業別のまとめ　（n=32）

海外のリソースセンターの内訳

	13日	14日	15日	16日	合計
ATCC（アメリカ）	1	1		1	3
CGC（アメリカ）			2		2
The Jackson Laboratory（アメリカ）	1				1
KOMP Repository（アメリカ）	1				1
Leon Avery（アメリカ）	1				1
ABRC（アメリカ）			1		1
ICRISAT（インド）			1		1

Q4 その生物材料は有償ですか、無償ですか？

□有償　　□無償

回　答　（複数回答あり）

	13日	14日	15日	16日	合計
有　償	14	9	15	6	44
無　償	16	8	17	2	43

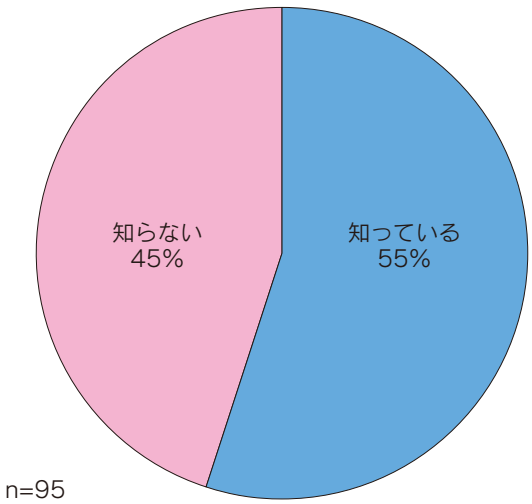
Q5 文部科学省ナショナルバイオリソースプロジェクト（NBRP）のことを知っていますか？

□知っている　　□知らない

回　答　（複数回答あり）

	13日	14日	15日	16日	合計
知っている	18	9	20	5	52
知らない	14	16	10	3	43
未回答	0	0	0	0	0

NBRPのことを知っていますか？



n=95

第34回日本分子生物学会年会 特別企画NBRP実物つきパネル展示

Q6 今回の特別企画実物つきパネル展示「バイオリソース勢ぞろい」の展示コーナー全般についてお気づきの点やご意見がありましたらお聞かせ下さい。

回　答

【12月13日】
- いつも素晴らしいブースばかりで感銘を受けています。
- こういったプロジェクトが継続されることを願っています。
- たくさんの種類のリソース展示があり、いろいろなブースを回りました。
- （リソースは）意外といろいろなものが揃っていて、びっくりした。
- 機器ユーザーのお客様にNBRPのウェブなど是非紹介したい。
- マウスを利用しているので、もっとマウスのブースを大きく展示してもらえたらと思ったが、他のリソースも見ることができ良かった。
- アサガオが新モデル生物というのが面白い。
- 東北地方にはリソースの研究機関がない。

【12月14日】
- 参考になりました。
- 実際の材料が並んでいておもしろい。
- 配属されたばかりで分かりません。
- 興味を持った。今後NBRPリソースを利用したい。（同一意見多数）
- 興味あり。実物リソース展示があるので、連日見に来ようと思う。
- 公的機関で提供しているデータベースの使い方について興味を持っている。
- こういったプロジェクトがあることを知らなかったので、良い勉強になった。（同一意見多数）
- マウスブースでの説明を聞いてみたい。
- ウイルスはやっていないのですか。
- リソースの入手方法について知りたい。
- リソースの分譲方法について知りたい。
- 動物愛護の関係で代替物を探している。カイコ、ショウジョウバエ、メダカ等知りたい。
- リウマチの疾患モデルを作成している。
- ブースの並びを統一して欲しい（理研BRCをまとめるとか）

【12月15日】
- 素晴らしい。
- いろいろな生物種のバイオリソースがあることを知りました。
- ブースの担当者が質問に対して詳しく説明してくれた。
- 第1期、第2期のリソース数に比べ、第3期は増えるのか。
- 震災等に備え、社ではリソースを各拠点で分割して（冷凍）保存している、NBPPでも同様なのか。
- リソース提供の際は、どのような容器を使用して送付しているのか。

【12月16日】
- データベースの充実と日本語訳がうれしい。
- （自分は）まだ研究を始めていないが、今回の展示でNBRPを知ったので良かった。

5 NBRP発足10周年記念 ナショナルバイオリソースプロジェクト（NBRP）公開成果報告会

【開催記録】 日　時：2012年1月20日㈮ 13：00～17：00
会　場：東京コンファレンスセンター・品川 大ホールB
主　催：文部科学省ナショナルバイオリソースプロジェクト推進委員会
参加者：170名

平成14年度に始まったナショナルバイオリソースプロジェクト（NBRP）は今年で発足10年の節目の年を迎えた。その締めくくりとなる今年度は、プロジェクトを総括する目的で一般公開の形式で公開成果報告会を開催した。NBRP代表機関からは、動物リソース2名（ラット、ショウジョウバエ）、植物リソース2名（シロイヌナズナ、トマト）、微生物リソース2名（原核生物、酵母）、細胞/遺伝子材料リソース1名（ヒト・動物細胞）、情報センター1名の8名の研究者が講演を行った。また、プロジェクトからリソースの提供を受け顕著な研究成果を上げた外部の研究者も、動物リソース、植物リソース各1名（ニホンザル・コムギ）講演を行った。一般の方々の参加も予想をはるかに上回る人数になり会場はほぼ満席となった。国のプロジェクトとしてのバイオリソースの重要性を一般の方々に知ってもらう機会を持てたこと、また、NBRP関係者同士の横断的な交流の機会を持てたことにより、第3期に向けての連帯感と使命感を改めて確認できる有意義な公開成果報告会となった。

NBRP公開成果報告会 次第

司会：NBRP事務局長　佐藤 清（国立遺伝学研究所）

13：00　開会

- 開会挨拶　NBRP広報企画WG主査　城石 俊彦（国立遺伝学研究所）
- 主催者挨拶　NBRP推進委員会主査　小原 雄治（国立遺伝学研究所）
- 来賓挨拶　土屋 英俊（文部科学省ライフサイエンス課）

13：15～14：15　動物リソース

座長：城石 俊彦（国立遺伝学研究所）

①ラット　芹川 忠夫（京都大学大学院）
②ショウジョウバエ　山本 雅敏（京都工芸繊維大学）
③ニホンザル　磯田 昌岐（沖縄科学技術大学院大学学園／理化学研究所脳科学総合研究センター）

14：15～14：55　微生物リソース

座長：漆原 秀子（筑波大学生命環境系）

④原核生物　仁木 宏典（国立遺伝学研究所）
⑤酵母　中村 太郎（大阪市立大学大学院）

14：55～15：20　休憩

15：20～16：20　植物リソース

座長：岡田 清孝（基礎生物学研究所）

⑥シロイヌナズナ　小林 正智（理化学研究所バイオリソースセンター）
⑦トマト　江面 浩（筑波大学生命環境系）
⑧コムギ　宅見 薫雄（神戸大学大学院）

16：20～17：00　細胞リソース・遺伝子材料・情報

座長：小幡 裕一（理化学研究所バイオリソースセンター）

⑨ヒト・動物細胞　中村 幸夫（理化学研究所バイオリソースセンター）
⑩情報センター　山﨑 由紀子（国立遺伝学研究所）

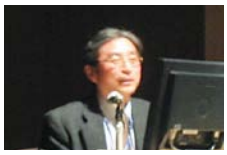
17：00　閉会

- 閉会挨拶　NBRP推進委員会委員　森脇 和郎（理化学研究所バイオリソースセンター）

・③と⑧はユーザー発表（NBRPリソースを利用して研究成果をあげた外部の研究者による発表）

NBRP公開成果報告会 プログラム

●動物リソース



座長：城石　俊彦（国立遺伝学研究所 教授）

ラット（中核的拠点整備プログラム代表機関）

「世界のラットリソース拠点NBRP-Rat」

芹川 忠夫（京都大学大学院医学研究科附属動物実験施設 教授）

ショウジョウバエ（中核的拠点整備プログラム代表機関）

「ショウジョウバエリソースの10年の歩みと今後の課題」

山本 雅敏（京都工芸繊維大学ショウジョウバエ遺伝資源センター 教授）

ニホンザル（ユーザー発表）

「ニホンザルを用いた社会的脳機能研究」

磯田 昌岐（沖縄科学技術大学院大学学園 准教授／
理化学研究所脳科学総合研究センター 客員研究員）

●微生物リソース

座長：漆原 秀子（筑波大学生命環境系 教授）

原核生物（中核的拠点整備プログラム代表機関）

「バクテリア界のスーパーモデルたちのリソースセンター」

仁木 宏典（国立遺伝学研究所系統生物研究センター 教授）

酵母（中核的拠点整備プログラム代表機関）

「究極のモデル真核生物「酵母」の研究を支えるNBRP酵母」

中村 太郎（大阪市立大学大学院理学研究科 教授）

●植物リソース

座長：岡田 清孝（基礎生物学研究所 所長）

シロイヌナズナ（中核的拠点整備プログラム代表機関）

「ポスト・ポストゲノムプロジェクトに向けたシロイヌナズナの基盤整備」

小林 正智（理化学研究所バイオリソースセンター実験植物開発室 室長）

トマト（中核的拠点整備プログラム代表機関）

「トマトの秘密を解き明かすバイオリソース」

江面 浩（筑波大学生命環境系 教授）

NBRP公開成果報告会

コムギ（ユーザー発表）

「倍数性進化の再現系を利用したコムギ祖先野生種の多様性評価」

宅見　薫雄（神戸大学大学院農学研究科　准教授）

●細胞リソース・遺伝子材料・情報

座長：小幡　裕一（理化学研究所バイオリソースセンター　センター長）

ヒト・動物細胞（中核的拠点整備プログラム代表機関）

「細胞工学ビッグバーン」

中村　幸夫（理化学研究所バイオリソースセンター細胞材料開発室　室長）

情報センター（情報センター整備プログラム代表機関）

「リソースの可能性を広げる情報ネットワーキング」

山﨑　由紀子（国立遺伝学研究所生物遺伝資源情報総合センター　准教授）

【会場風景】

NBRP公開成果報告会

2011年度NBRP広報活動について

NBRP事務局

ナショナルバイオリソースプロジェクト（NBRP）は、動物、植物、微生物、細胞および遺伝子材料等の生物遺伝資源（バイオリソース）を国として戦略的に整備する国家プロジェクトです。文部科学省のイニシアティブの下に2002年度から開始され、今年度は、第2期の最終年度にあたり、プロジェックト発足以来10年目を迎えました。

発足10年目に臨み、「NBRP発足10周年記念　ナショナルバイオリソースプロジェクト公開成果報告会」を企画し、平成24年1月に品川で開催しました。講演者は10名で、NBRPのリソースの課題管理者7名、NBRPリソースを利用して成果をあげた外部の研究者2名および情報センターの課題管理者1名です。報告会には、内閣府、文部科学省からご来賓を迎え、NBRP関係者およびWeb申込みから参加を登録した一般の方々を合わせ約170名の参加となり会場はほぼ満員になりました。リソースの整備事業に長年情熱と努力を注いでこられた各先生方の講演には聴衆一同深い感銘と啓発を受けました。加えて、NBRP実施機関の研究者同士の横の交流が一層高まったこと、一般社会に対して本プロジェクトを広報する機会になったこと等、有意義な成果報告会になりました。

学会でのNBRPの広報活動は、3.11の東日本大震災、原発事故による影響で日本農芸化学会、International Congress on Molecular Plant-Microbe Interactionsの開催が中止となり、予定していた出展は取り止めになりましたが、9月以降は予定通り実施することができました。国内学会としては、日本遺伝学会第83回大会、第84回日本生化学会大会、第34回日本分子生物学会年会、国際学会としては、8th Solanaceae and 2nd Cucurbitaceae Genome Joint Conference において、NBRPシンポジウムの開催やNBRPコーナーの展示会を特設して広報活動を行いました。日本分子生物学会では、恒例になっている特別企画実物付きパネル展示を主宰しました。出展者はNBRPリソースの研究機関に加え、厚生労働省、農林水産省、経済産業省のバイオリソース関係の研究機関および文部科学省のライフサイエンス分野の他のプロジェクトからの参加もあり、総数47ブースに達する大きな展示会になりました。展示ブースの前では、熱心な意見交換が交わされ熱気のある展示会になりました。日本遺伝学会では、シンポジウムを開催しましたが、好評だったことから今後もNBRPシンポジウムを企画したいと思っています。

公開成果報告会が終わってから一般参加者からNBRPに対する関心度と期待感を示すメールが事務局に寄せられました。今春からスタートする第3期NBRPにおいて、NBRPの広報活動は、研究者と一般社会のダブルメジャーに目を向けて、努力していきたいと考えています。

NBRP広報企画ワーキンググループ委員名簿（五十音順）

明石 良	宮崎大学フロンティア科学実験総合センター教授
漆原 秀子	筑波大学生命環境系教授
小幡 裕一	理化学研究所筑波研究所長
小林 正智	理化学研究所バイオリソースセンター 実験植物開発室長
◎城石 俊彦	情報・システム研究機構国立遺伝学研究所 系統生物研究センター教授
成瀬 清	自然科学研究機構基礎生物学研究所准教授
仁木 宏典	情報・システム研究機構国立遺伝学研究所 系統生物研究センター教授
福田 裕穂	東京大学大学院理学系研究科教授
山﨑 由紀子	情報・システム研究機構国立遺伝学研究所 生物遺伝資源情報総合センター准教授
山本 雅敏	京都工芸繊維大学 ショウジョウバエ遺伝資源センター長

◎主査

National BioResource Project (NBRP)

www.nbrp.jp

企　画
文部科学省ナショナルバイオリソースプロジェクト
企画広報ワーキンググループ

発　行
国立遺伝学研究所NBRP事務局
〒411-8540 静岡県三島市谷田1111
TEL: 055-981-6765
http://www.nbrp.jp/office/

H24.3